

## 重要なお知らせ

2025年7月9日

## ご注意ください：

## 利用中の POS 機器およびバーコードリーダーの読み取り設定について

最近、海外から輸入された商品の GTIN (商品コード) が一部の小売店舗 POS において読み取れないという事象や、特定の国のプリフィックス (GS1 事業者コードの先頭の番号) が、知っている番号と異なるといった問合せが確認されています。

GTIN が読み取れない事象については、POS ベンダーへのヒアリング調査から、特定の POS 機器やソフトウェアによるものではなく、小売店舗での独自設定に起因する可能性が高いことが判明しています。一部のプリフィックス (GS1 事業者コードの先頭の番号) で始まる GTIN のみを読み取る設定を行ったり、未割当のプリフィックスを社内用途に使用したりすると、正規に GTIN が設定された商品が流通できなくなり、流通が混乱しかねません。

## 【POS 機器をお使いの皆様へ ご確認のお願い】

自社店舗で利用されている POS システムの設定を、今一度ご確認ください。特定の番号帯を読み取れないよう設定している場合は、至急、設定変更をお願いします。

GTIN は日本を含む世界 150 か国以上で使われている GS1 標準です。その番号体系において、社内管理用にユーザーが使えるのは後述の「インスタコード」のみです。現時点で GS1 加盟組織や特別用途等に割り当てられていないプリフィックスも、将来的にどこかに割り当てるためのものであり、勝手に使うと正規の GTIN とバッティングし、流通上に混乱が生じます。

例えばアメリカ・カナダで使われる GTIN として 12 桁の U.P.C. (GTIN-12) がよく知られていますが、2005 年からは GS1 US に 1 から始まる GTIN-13 用のプリフィックスも割り当てられており、すでにアメリカの事業者にも 1 から始まる事業者コードが貸与され、流通し始めています。



### 【GS1 プリフィックス一覧表】

当財団では GS1 プリフィックスについて、割り当てられた加盟組織名・用途の[一覧表\(日本語訳\)](#)を毎年更新してウェブサイトに掲載しています。

※ 最新版は [GS1 Global のウェブページ \(英語\)](#) からご参照いただけます。

### 【社内管理のために使えるコード：インスタコード (20～29)】

GTIN がソースマーキングされていない商品に対して、小売店舗内で管理するために使う番号として、「インスタコード」があります。プリフィックスは、20～29 です。

※ インスタコードはあくまで「社内利用」を想定したコードであり、企業間取引に使うことはできません。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

GS1 Japan

(一般財団法人流通システム開発センター)

※本件については、[こちら](#)のフォームからお問い合わせください。